

仙台市泉中央駅前駐車場機械警備業務

1 警備実施上の諸設備及び経費の負担分

- (1) 警報機器及びこれに付帯する一切の設備（以下「警報装置」という。）について、指定管理者がこれを設置し、指定管理者の所有に属する。
- (2) 警報装置による警備に付随する経費は、全て指定管理者の負担とする。

2 損害賠償

指定管理者は、機械警備に基づく警備業務遂行中、指定管理者の過失（債務不履行の他、指定管理者の従業員の過失及び不法行為に関する指定管理者の使用者過失責任を含む。）により生じた仙台市の損害について、その損害を賠償するものとする。

3 警備員による第三者への損害等に対する責任

指定管理者は、指定管理者が警備を実施するにあたり生じた警備員の災害及び警備員が第三者に与えた損害について責任を負うものとする。

4 臨機の措置

仙台市又は指定管理者において、警備上緊急を要すると認めたときは、仙台市と指定管理者間で速やかに協議のうえ臨機の措置を講じるものとする。

5 実施時間

人員配置時間を除く時間

6 警備機構

(1) 警報装置

駐車場で発生した異常事態を警備会社の管制センターへ自動的に通報する機能を有する。

(2) 管制センター

警備実施時間中、警報受信装置を間断なく監視するとともに、常に無線巡回警備車との連絡を保持する。

(3) 無線巡回警備車

常に管制センターと連絡を保持し、警備対象の異常事態に備える。

7 鍵の預託

警備実施に必要な鍵は、仙台市及び指定管理者相互に預託し、預託された鍵はそれぞれが厳重な取扱と保管をする。

8 異常事態発生時における処置

- (1) 警報受信装置等により駐車場に異常事態が発生したことを確認したときは、無線巡回警備車及び管制センターからの緊急出動車を速やかに急行させ、異常事態を確認するとともに、事態の拡大防止に努める。
- (2) 駐車場に到着した警備員は、異常事態を確認後、管制センターへその状況を連絡し、必要に応じて消防署、警察署、仙台市都市整備局総務課等の関係機関へ通報する等、迅速に適切な措置を講じる。

9 警報装置の保守点検

警報装置について正常な機能を維持するため、毎月 1 回の保守点検を行う。また、万一、警報装置の故障等により作動に異常を生じたときは、遅滞なく故障の修繕にあたるとともに、警備上の安全処置を講じる。

10 設置時期

令和 7 年 4 月 1 日以降速やかに設置するものとする。

なお、設置が完了されるまでの間、5 に定める実施時間については、警備員を駐車場に配置する等の対応をとるものとする。

11 契約終了時の警報装置撤去

指定管理者は、契約終了時以降において、施設に設置された警報装置を速やかに撤去するものとする。なお、撤去に要する費用は指定管理者が負担するものとする。

12 警報装置設置箇所

- (1) 1 階南側ホール
- (2) 1 階北側ホール
- (3) 3 階北側ホール
- (4) 1 階精算機
- (5) 管理室内部
- (6) 管理室扉 3 ヶ所
- (7) 入口ゲート
- (8) その他警備上必要と思われる箇所